

隠岐の島町・看護研修～看護学生体験ツアー～

隠岐の島町の「陸から、海から、住民から」学んだ4日間の概要を紹介します。

この研修は、隠岐の島町役場（保健課及び定住対策課）から提案を受け、本学出雲キャンパスキャリア委員会のプログラムの1つとして企画しました。

9月6～9日の3泊4日、12名の学生と2名の教員が参加しました。

9月6日（木）

学年も専攻も異なるメンバーが目的を一つに集まり、隠岐もフェリーも初体験の参加者も多く緊張も…。隠岐の島に着く頃にはそんな心配も、不安も感じられませんでした。

あたたかく出迎えていただき、黒曜石の加工体験、福浦トンネルを探検し、しっかりとローソク島に点った灯を写真に納めました。



9月7日（金）

保健（保健師）と医療（看護師・助産師）に分かれての活動を体験したあと、隠岐の島町で就職された先輩達と意見交換会をしました。離島の看護職には使命感があふれていると感じました。

夜は民泊で、家族の一員として過ごしました。



9月8日（土）

陸から、海から、ジオパークについて学びました。

夜は、各自が魚をさばき、皆さんとバーベキュー、「ごちそうさまでした！」



9月9日（日）

前日のバーベキューの後、頑張って学びを「まとめ」、お世話になった皆さんに報告をしました。



今回の研修の目的『離島の保健・医療・福祉体験からの学びを共有し、卒業後の進路を考えることができる』は達成することができました。

この研修で出会ったすべての皆様と隠岐の島町の自然に感謝致します。特に、企画から実施までご指導頂いた役場や関係者の皆様、ありがとうございました。

引率教員：吾郷美奈恵・多々納憂子